

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 秋田市立秋田商業高等学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
 住所 〒010-1603  
秋田県秋田市新屋勝平台1-1  
 E-mail : akisho@akisho.ed.jp  
 Website : http://www.akita.ed.jp  
 児童生徒数：男子 326名 女子 390名 合計 716名  
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校でユネスコスクールとしての活動やESDを主に担当している「エコロジカルビジネス班」の活動内容は以下の通りである。

#### 1) 各種講座

6月16日に、秋田市環境部の「あきた次世代エネルギーパーク」見学事業によ

り、風力発電施設と秋田市総合環境センターを見学した。それを踏まえて、6月30日には、秋田県「環境の達人」地域派遣事業により、秋田県立大学システム科学技術学部准教授の金澤信浩氏による「3Rについて学びを深める」という講座を受講した。3Rとはリダクション（削減）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）のことで、環境省も推進している。

一方、6月23日には、一般社団法人あきた地球環境会議理事の福岡真理子氏がゲーム形式で食物連鎖や生物多様性について解説してくださった。7月14日には、一般社団法人心と文化書画詩歌財団の齋藤光子氏による「割り箸で描く書画講座」を受講した。生徒たちは割り箸に墨をつけ、詩や言葉の持つイメージを自由に描いていた。

こうした外部講師による講座とは別に、この班の担当教員も講座を受け持った。シリアでボランティア体験をしたことのある担当教員は「青年海外協力隊に参加して」と題して、シリアで人々の暮らしについて話をした。もう一人の担当教員は、この班が以前に発行した本を用いて、国連や世界情勢、国際社会の取り組みについて話をした。

## 2) AKISHOP（総合的な学習の時間の発表の場）での活動

初日の午後、班の生徒たち15名のうち13名が秋田市雄和のダリア農園を訪問し、雨のなかダリアを摘んだ。そのダリアは、翌日のAKISHOP会場において来場者に無料配布した。

また、持ち寄った家庭の不要品を販売するフリーマーケットを開いた。6,450円の収益が上がり、国連UNHCR協会を通して難民のために寄付した。

さらに、秋田杉の廃材から箸を作成するコーナーでは、来場者が棒状の木材にヤスリをかけて自分なりの箸を作成し、講師の伊藤良治さんに仕上げてもらっていた。

## 3) 全国産業教育フェア石川大会での発表

11月25日に金沢市で産業教育フェアが開催され、二人の3年生が「エコロジカルビジネスの挑戦」と題して、班の取り組みについて発表した。雄物川河川敷でのごみ拾いや由利本荘市のサステナブルハウス（持続可能な家）の見学、学校敷地内での風力発電装置の設置計画、秋田市環境部への訪問など、この発表のために多くの準備を行った。発表の最後には、「地球は人間だけのものではない。地球に暮らす生き物すべてが生き続けていくためのもの。だから、エコロジカルビジネスの考え方が必要」と述べて締めくくった。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）